

② 「485秋夜 九月十五日」



③ 「486哭奥州藤使君  
九月廿二日四十韻」

### 「三詩の詩情」考

#### 「詩句」

① 199句 「敘意千言裏」  
200句 「何人一可憐」



② 5句 「月光似鏡無明罪」  
8句 「此秋獨作我身秋」



題注 「九月十五日」



題注 「九月廿二日」

#### 「詩情」考

今の自分の心情を共に分かちあえる「一人」の友も持ち得ぬ  
「孤独感」。自分の生の軌跡を誰とも共有出来ぬ「絶望感」



自分の無美を晴らしてくれるような心を許し合える友を持ち  
得ぬ、「天涯孤独の底知れぬ心の闇」の叫び

